

プログラム

大会長講演

大会長講演

9月6日（土）9：50～10：30

第1会場

PL 災害における看護の汎用性

座長：三橋 睦子（国際医療福祉大学大川キャンパス 看護学科）

演者：長田 恵子（東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科）

特別講演

特別講演 1

9月6日（土）10：40～11：40

第1会場

SL1 防災 DX の動向と今後の展開

座長：酒井 明子（福井大学 医学部）

演者：臼田裕一郎（国立研究開発法人防災科学技術研究所社会防災研究領域
総合防災情報センター）

特別講演 2

9月6日（土）13：20～14：20

第1会場

SL2 首都直下地震への備え — 災害医療体制の進化と災害看護の役割

座長：長田 恵子（東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科）

演者：大友 康裕（独立行政法人国立病院機構災害医療センター）

特別講演 3

9月6日（土）14：30～15：30

第1会場

SL3 自然環境および社会環境の激変のなかで災害看護学は何ができるかを問う

座長：大野かおり（兵庫県立大学 看護学部）

演者：南 裕子（一般社団法人日本災害看護学会 名誉会員）

教育講演

教育講演 1

9月6日(土) 15:40 ~ 16:40
第1会場

EL1 気象学の発展、地球を守る

—気象学からみた防災と気候変動対策—

座長：三浦 英恵（日本赤十字看護大学看護学部）

演者：橋田 俊彦（横浜国立大学総合学術高等研究院 台風科学技術研究センター）

教育講演 2

9月7日(日) 9:50 ~ 10:50
第1会場

EL2 国連持続可能な開発目標 SDGs と環境リスク評価

座長：松本志保子（公益社団法人静岡県看護協会会長）

演者：吉川 圭子（環境省水・大気環境局環境管理課）

教育講演 3

9月7日(日) 11:00 ~ 12:00
第1会場

EL3 保健 / 医療 / 福祉をつなぐ

座長：増野 園恵（兵庫県立大学地域ケア開発研究所）

演者：市川 学（芝浦工業大学 システム理工学部）

シンポジウム 1

シンポジウム 1

9月6日(土) 10:20 ~ 11:50
第2会場

「災害看護教育のDX推進」

座長：宮前 繁（国立大学法人東京科学大学病院）

藤村 朗子（東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科）

S1-1 災害現場で求められる DX と災害看護教育の再構築：VUCA 時代の意思決定を支える人材育成に向けて

宮川祥子

（慶應義塾大学 看護医療学部）

S1-2 放射線防護教育用 AR アプリケーションの開発

松本真之介

（東京都立大学大学院 人間健康科学研究科 放射線科学域）

S1-3 Virtual reality を活用した災害看護教育

堀田昇吾

（東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科）

「能登の災害から考える災害対策の課題一つなく看護―」

座長：今津 陽子（東京科学大学大学院保健衛生学研究科 災害・クリティカルケア看護学
分野）

澁澤 盛子（独立行政法人国立病院機構埼玉病院 看護部）

S2-1 能登の災害から考える災害対応の課題―被災者・支援者の立場から―

本間雅代
（石川県能登北部保健福祉センター）

S2-2 能登半島地震における災害拠点病院としての役割と被災病院としての体験
―看護の連携の大切さ―

澤味小百合
（公立能登総合病院看護部）

S2-3 能登半島地震における後方支援と病院の役割
―病院機能を維持しながら被災患者を受け入れた経験―

藤田恵子
（国立病院機構金沢医療センター看護部）

シンポジウム3

9月7日(日) 10:20 ~ 11:50

第2会場

「病院における災害時のマネジメント」

座長：久保田聡美（高知県立大学看護学部／健康長寿研究センター）

鈴木 美和（独立行政法人国立病院機構 災害医療センター看護部）

S3-1 国立病院機構に勤務する看護師への災害看護教育について
―ある基幹災害拠点病院において実践している災害看護教育について―

高見沢愛弓
（独立行政法人国立病院機構東京医療センター看護部）

S3-2 中山間地域にある災害拠点病院における大規模地震災害に対する現状と課題

宮本元貴
（医療法人川村会 くほかわ病院 医療療養病棟 師長、日本 DMAT 隊員）

S3-3 災害時における看護職受援の重要性 ―令和6年能登半島地震の経験から―

本橋敏美
（社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 現地域包括ケアセンター）

シンポジウム4

9月7日(日) 13:30 ~ 15:00

第2会場

「在宅避難における看護」

座長：河原加代子（東京都立大学大学教育センター）

福島 恭子（静岡県立大学看護学部）

S4-1 災害時における在宅療養者の安全な避難と継続支援に向けて
―医療依存度の高い小児慢性特定疾病児の在宅及び避難所避難の多角的検討―

室岡真樹
（新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部（長岡保健所））

S4-2 在宅療養者の在宅避難訓練の実際と課題 ―町の保健師の立場から―

釧持由希子
（神奈川県二宮町役場 福祉部 高齢介護課高齢福祉班）

- S4-3 災害時に生きる看護師の柔軟性と実践力
橋 朋絵
(東京都立病院機構広尾病院診療支援部東京都立広尾病院 / ゆみのハートクリニック
診療支援室 / 看護部)
- S4-4 非日常は日常の延長にある—災害対策を訪問看護にどう組み込むか
河原宣子
(京都橘大学 看護学部)

学会企画

学会企画 1

9月6日(土) 10:20 ~ 11:50

第4会場

災害看護倫理検討委員会

GK1 災害看護と研究倫理 —あなたの悩みにお答えします—

担当理事：今津 陽子 (東京科学大学大学院保健衛生学研究科災害・クリティカル
ケア看護学分野)

学会企画 2

9月6日(土) 13:20 ~ 14:20

第4会場

ネットワーク活動委員会

GK2 「先遣隊」活動を知ろう

担当理事：佐々木久美子 (日本赤十字東北看護大学)

学会企画 3

9月6日(土) 11:00 ~ 12:00

第6会場

組織会員委員会

GK3 災害看護教育をクリニカルラダーにどのように組み入れるか

—クリニカルラダーにおける災害看護教育の実際と課題・展望—

担当理事：斉藤 正子 (清泉大学)

学会企画 4

9月6日(土) 13:20 ~ 14:50

第6会場

まちの減災ナース指導者育成委員会

GK4 まちの減災ナース指導者カフェ

担当理事：松岡 千代 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部看護学科)

学会企画 5

9月6日(土) 15:00 ~ 16:00

第6会場

令和6年能登半島地震災害看護プロジェクト

GK5 令和6年能登半島地震：復興に向けた連携・協働

担当理事：増野 園恵 (兵庫県立大学 地域ケア開発研究所)

学会企画 6

9月7日(日) 14:00 ~ 15:00

第4会場

災害看護ケアの質向上委員会

GK6 災害看護を問い直すー支援をうけた被災者の視点からー

担当理事：渡邊 智恵

学会企画 7-1

9月7日(日) 9:50 ~ 10:50

第6会場

若手アカデミー委員会

GK7-1 災害関連死予防に資する看護支援のあり方

ー若手アカデミーの取り組みと展望ー

担当理事：神原 咲子(神戸市看護大学)

学会企画 7-2

9月7日(日) 11:00 ~ 12:00

第6会場

若手アカデミー委員会

GK7-2 若手・学生 Meetup !

ー若手がつなぐ若手で描く 災害看護の未来とキャリアプランー

担当理事：神原 咲子(神戸市看護大学)

市民公開講座

市民公開講座

ー社)日本災害看護学会/第27回年次大会共催

9月7日(日) 13:20 ~ 14:20

第1会場

CL1 江戸ー東京の防災のまちづくりー現在に受け継がれる「江戸町火消し」の心意気ー

座長：江口のぞみ(埼玉県立大学保健医療福祉学部)

久保 恭子(東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科)

演者：須藤 晃二(一般社団法人江戸消防記念会事務局 元東京消防庁警防部)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1

9月6日(土) 12:10 ~ 13:10

第4会場

LS1 看護学教育におけるデジタル戦略：実習記録 web 化の稼働シナリオと成功要因

座長：羽根田 洋(株)永和システムマネジメント医学教育支援室)

演者：藤村 朗子(東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科)

共催：株式会社永和システムマネジメント

ランチョンセミナー 2

9月6日(土) 12:10 ~ 13:10

第3会場

LS2 災害対策と BCP の院内教育が必要だ ー起こり得る局地災害に向けてー

座長：上川 智彦(株式会社 Vitaars メディカル営業部)

演者：薬師寺泰匡(薬師寺慈恵病院院長)

共催：ヴェクソンインターナショナル株式会社

ランチョンセミナー3

9月7日(日) 12:20～13:20

第4会場

LS3 遠隔医療システム クラウド超診[®]の災害現場における活用

座長：山本 宏一（独立行政法人国立病院機構災害医療センター）

演者：小川 晋平（AMI 株式会社 CEO）

高以良 仁（独立行政法人国立病院機構災害医療センター）

共催：AMI 株式会社

ランチョンセミナー4

9月7日(日) 12:20～13:20

第3会場

LS4 看護基礎教育における DX、ICT 教育の未来

ー VR 災害看護を活用した教育デザインの提案ー

座長：藤村 朗子（東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科）

演者：西村 礼子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科基礎看護学領域 教授、学長戦略本部 参事、IR 推進室 室長補佐、総合研究所 教育 DX 研究ユニット 副ユニット長）

共催：株式会社 Gakken / 株式会社学研メディカルサポート

スイーツセミナー

スイーツセミナー

9月7日(日) 10:00～11:00

第4会場

SS 災害時の感染性廃棄物の処理について

座長：花房 亮（国立病院機構災害医療センター）

演者：松木平 充（セントラル科学貿易）

福元 大介（独立行政法人国立病院機構相模原病院）

共催：株式会社セントラル科学貿易

交流集会 / ワークショップ

交流集会 1

9月6日(土) 15:00～16:00

第2会場

KS1 寒冷・雪環境下の災害看護実践力を高めよう！ー安全で最善な看護実践方法を考えるー

演者：鬼塚 美玲（札幌市立大学看護学部 准教授）

交流集会 2

9月7日(日) 11:00～12:00

第3会場

KS2 一般ボランティアとの連携について語るー災害ボランティアセンター内外のあれやこれやー

演者：高田 昭彦（富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 S E 統括 一般職）

ワークショップ 1

9月6日（土）9：50～10：50

第6会場

WS1 立ち上がれまちの減災ナース指導者！羽ばたけ減災ナース！一プロジェクトチーム始動から考える現状と課題、そして仲間作りー

企画担当：大塚 有希（牧田総合病院 救急センター）

ワークショップ 2

9月7日（日）9：50～10：50

第3会場

WS2 災害看護でまちづくり

災害時にも「地元を守りたい」看護職による草の根活動ネットワークの構築へ向けて

企画担当：趙 由紀美（東城看護専門学校）

プログラム

一般演題（口演）

一般演題（口演） 1

9月6日（土）11:00～12:00

第3会場（国際交流棟 レセプションホール）

「災害管理体制・備え①」

座長：竹本由香里（宮城大学）

O1-1 「大雨・台風 対応タイムライン」を運用した有用性と課題

○米山正志

昭和医科大学病院 救命救急病棟

O1-2 災害対応力強化を目指した GIS 活用の試み：葛飾区における IP 無線設置先の可視化

○吉田佳世¹⁾、高山公子²⁾、石丸晃子³⁾、三保 健⁴⁾、菅原七海⁴⁾、堀池 諒⁵⁾、
石橋みゆき⁶⁾

葛飾区 新小岩保健センター¹⁾、葛飾区健康部金町保健センター²⁾、千葉大学医学部
附属病院³⁾、千葉大学大学院看護学研究科⁴⁾、奈良県立医科大学医学部看護学科⁵⁾、
千葉大学大学院看護学研究院⁶⁾

O1-3 北海道内の市町村における厳冬期地震災害に対する防災対策の現状と課題

○鬼塚美玲、市戸優人

札幌市立大学 看護学部

O1-4 厳冬期地震災害時の避難所を想定した寒冷環境下における災害食の摂取意欲 一年代別比較 による災害食の備蓄に向けた検討一

○鬼塚美玲、市戸優人

札幌市立大学 看護学部

一般演題（口演） 2

9月6日（土）13:20～14:20

第3会場（国際交流棟 レセプションホール）

「災害管理体制・備え②」

座長：西上あゆみ（藍野大学）

O2-1 地震災害の支援経験を持つ看護師が認識している支援活動を想定した看護師個人の備え

○木之下護¹⁾、中信利恵子²⁾

兵庫県立尼崎総合医療センター 初療¹⁾、日本赤十字広島看護大学²⁾

O2-2 災害支援後も通常通り勤務継続ができるための看護師支援

○城尾恵子

社会医療法人三栄会ツカザキ病院

O2-3 災害拠点病院における一般病棟での災害対策の現状と課題一病棟ごとの特徴に注目して一

○津島萌花、今津陽子、佐々木吉子、濱舘陽子

東京科学大学病院

O2-4 看護師長が自部署看護師に対して行う伝達・周知から見出されたこと 一看護師長の思考と 行動の変化一

○井上ひろみ

市立敦賀病院 看護部

O2-5 看護師の所属科経験と災害看護能力の関連性

○福内 愛

防衛医科大学校 医学教育部看護学科 成人看護学講座

「災害管理体制・備え③」

座長：太田 晴美（東北福祉大学）

- O3-1 地域の減災活動を担う機能別団員「災害医療看護」発足までの経緯と今後の課題
○福島俊江
埼玉石心会病院 看護管理室
- O3-2 看護職による保育所 BCP 策定支援の実践報告
○榊原開斗
神戸市看護大学 看護学研究科 基盤看護学領域 災害看護学分野 災害看護 CNS
コース
- O3-3 地域防災計画への食物アレルギー疾患に関する記載状況 ―東海地方の南海トラフ地震津波
避難対策特別強化地域とその近隣自治体―
○奈良かな子
埼玉医科大学 保健医療学部看護学科
- O3-4 可視化した災害対策委員会運営 ―看護管理で学んだ目標管理の有効活用―
○高橋由美子、鬼塚亜紀子
日産厚生会玉川病院 看護部

一般演題（口演）4

9月6日（土）15:40～16:40
第3会場（国際交流棟 レセプションホール）

「災害管理体制・備え④ / こころのケア」

座長：佐藤 大介（福井大学）

- O4-1 災害協力病院において看護職が災害対策へ取り組むことの意義と考察
○室田 力、福田敦子、大泉昌也
独立行政法人国立病院機構 相模原病院
- O4-2 看護系学会において交流集会に参加した看護師による病院看護師向け防災リテラシー 82
項目の精練
○西上あゆみ¹⁾、渡邊智恵、松本晃子¹⁾、宮岡裕香¹⁾
藍野大学 看護学部 看護学科¹⁾
- O4-3 DMAT 看護師が直面する災害支援活動時の倫理的問題
○堀明日香
市立札幌病院 看護学部 看護学科
- O4-4 東日本大震災の災害支援に従事した看護職の心理的負担と回復支援 ―文献検討による構造的
理解と提案―
○舞床若奈¹⁾、野中千春²⁾
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター¹⁾、国立健康危機管理研究機構
国立看護大学校²⁾

「支援活動報告（地域）」

座長：河原加代子（東京都立大学）

- O5-1 福島第一原子力発電所事故から11年後の避難指示解除地域に早期帰還した住民の日常生活での想い
○佐藤美佳¹⁾、伊東尚美²⁾、山本知佳²⁾
福島県立医科大学大学院 災害・被ばく医療科学共同専攻¹⁾、福島県立医科大学医学部²⁾
- O5-2 起点地域を中心に広がるまちの減災ナース OSAKA の活動報告
○西野知子、松木優子、佐藤 真
まちの減災ナース OSAKA 大阪公立大学医学部附属病院
- O5-3 東北地方で開催されたスポーツイベント救護に関する活動報告
○野原正美（のはら まさみ）¹⁾、高野拓哉¹⁾、福田理絵¹⁾、佐藤武諭毅²⁾、太田晴美¹⁾
東北福祉大学¹⁾、株式会社ファーストエマージェンシー²⁾
- O5-4 まちの減災ナース指導者の組織基盤づくりにおける不足な知識 —「まちの減災ナース 横浜」初年度の活動を通して—
○平岩博子
まちの減災ナース横浜
- O5-5 自然災害発生後の仮設住宅入居者に対して提供された看護支援に関する文献検討
○松本唯愛¹⁾、濱舘陽子²⁾、佐々木吉子²⁾、今津陽子²⁾
東京科学大学病院 看護部 ER-HCU¹⁾、東京科学大学大学院災害・クリティカルケア看護学分野²⁾

「災害の実態調査 / 災害訓練」

座長：宮本 純子（広島国際大学）

- O6-1 世界のテロ災害における30年間の研究の動向
○藤村麻衣子、佐々木吉子、今津陽子
東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 災害・クリティカルケア看護学
- O6-2 災害看護学の視点を取り入れた防災士研修の実践とその評価 —被災者への「寄り添い方」を学ぶワークショップの意義—
○畑吉節未
関西国際大学 看護学研究科・保健医療学部看護学科 地域・在宅看護学領域
- O6-3 手術室における多職種合同での災害訓練に関する認識と意見
○森 美幸、吉田充紗、濱田蓉子
大阪ろうさい病院
- O6-4 感染症流行下の全国の災害拠点病院における多数傷病者受入訓練の実態調査報告
○岡崎敦子¹⁾、田中加苗²⁾、小川裕美子³⁾
国立病院機構東京医療センター¹⁾、聖路加国際大学²⁾、聖路加国際病院³⁾

「支援活動報告（能登）」

座長：小林 賢吾（熊本赤十字病院）

- 07-1 都市型局所災害における A 病院 DMAT 看護師の活動からみえた今後の課題 — 東京都南多摩医療圏の二次病院 DMAT 活動記録書の分析から
○指田妙子、洪 順子
東海大学医学部附属八王子病院 看護部 救急センター
- 07-2 2024 年能登半島地震における A 県災害支援ナース活動記録の看護実践に関する内容分析
○鴨田玲子
公益社団法人東京都看護協会
- 07-3 能登半島地震での DMAT 看護師活動を通して 院内の災害時対応力強化に向けた取り組み
○岡寄直子、藤井由美恵、松相雄真
国立病院機構高崎総合医療センター 看護部
- 07-4 能登半島地震に伴うヘリ搬送活動の振り返り — 即席チームによる高齢患者搬送の課題と対応—
○池田溪子
市立大町総合病院 地域医療福祉連携室
- 07-5 能登半島地震での活動報告
○江津 繁
国立病院機構埼玉病院 看護部

「災害時要援護者（要配慮者）」

座長：松岡 千代（甲南女子大学）

- 08-1 能登半島地震後の能登地区の介護福祉施設の入所者の避難後の生存時間解析調査から考える、災害急性期における看護ケア継続性
○山本知佳
福島県立医科大学 医学部 放射線健康管理学講座
- 08-2 食物アレルギーをもつ幼児期後期の子どもの親の災害対策
○都築明来帆¹⁾、飯野理恵²⁾
埼玉医科大学総合医療センター¹⁾、千葉大学大学院看護学研究院²⁾
- 08-3 在宅高齢者の防災に関する文献検討
○瀬川浩子¹⁾、西上あゆみ²⁾
藍野大学 看護学研究科 災害看護専攻¹⁾、藍野大学看護学部²⁾
- 08-4 災害時支援を見据えた避難行動要支援者名簿における認知症者把握の現状
○三保 健¹⁾、吉田佳世²⁾、菅原七海³⁾、石丸晃子⁴⁾、石橋みゆき⁵⁾
千葉大学¹⁾、葛飾区健康部新小岩保健センター²⁾、千葉大学看護学研究科³⁾、千葉大学医学部附属病院⁴⁾、千葉大学大学院看護学研究院⁵⁾
- 08-5 妊婦と乳児を育てる母親の災害への認識と備えの実態
○下村実邦子¹⁾、西上あゆみ²⁾
京都橘大学 看護学部¹⁾、藍野大学²⁾

「災害看護教育」

座長：佐々木吉子（東京科学大学）

- O9-1 大学と病院が協働するオンライン災害看護研修—看護コンソーシアムによる取り組み—
○栗原知己¹⁾、牧野夏子¹⁾、金丸道太郎²⁾、源本尚美³⁾、鬼塚美玲¹⁾
札幌市立大学 看護学部¹⁾、手稲溪仁会病院²⁾、市立札幌病院³⁾
- O9-2 災害医療における看護職の意識と備え—新入職者アンケートから見えた課題—
○鬼塚亜紀子、高橋由美子、田中 峻
日産厚生会玉川病院 看護部
- O9-3 災害時の看護の備えに対する看護学生と看護師の理解度の比較
○片穂野邦子、大重育美
長崎県立大学 シーボルト校 看護栄養学部 看護学科
- O9-4 地震発生時の役割行動に対する看護学生の考えと地域愛着の関連に関する研究
○青山綾花¹⁾、山崎加代子²⁾
市立敦賀病院¹⁾、敦賀市立看護大学²⁾

一般演題（口演）10

9月7日（日）13:30～14:30

第5会場（センター棟 304）

「国際看護協力・活動／救援／支援ネットワーク」

座長：藤井 愛海（日本赤十字豊田看護大学）

- O10-1 シエラレオネ小児医療センターにおける5S活動
○池田載子
大阪赤十字病院 救急部・国際医療救援部
- O10-2 紛争地での国際緊急医療援助に携わる看護師に求められる資質と能力—紛争地での活動経験に関する手記分析を通して—
○齋藤冬鈴¹⁾、野中千春²⁾
杏林大学医学部付属病院 手術部¹⁾、国立健康危機管理研究機構 国立看護大学校²⁾
- O10-3 大規模災害からの地域ケア体制再構築戦略の検討—スマトラ島沖地震・インド洋津波後のバンダアチェにおける取り組みから
○増野園恵¹⁾、藤井愛海²⁾、松尾香織³⁾、勝沼志保里⁴⁾、林 知里¹⁾
兵庫県立大学 地域ケア開発研究所¹⁾、日本赤十字豊田看護大学²⁾、東京医療保健大学 和歌山看護学部³⁾、宮城大学⁴⁾
- O10-4 能登半島地震における福祉避難所支援活動の分析—KJ法を用いた支援者の経験知の抽出—
○佐藤 真
藍野大学短期大学部 青葉丘校
- O10-5 被災した看護師の心情の経年的変化と効果的支援の在り方—文献レビューによる考察—
○野々村優希¹⁾、野中千春²⁾
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター¹⁾、国立健康危機管理研究機構 国立看護大学校²⁾

一般演題（示説） 1-1

9月6日（土）13:20～14:20
ポスター会場（センター棟 1F 101）

「災害訓練①」

座長：高見沢愛弓（国立病院機構東京医療センター）

P1-1 看護大学と災害拠点病院の協働による災害時初動実習の取り組み報告

○吉田 茜、堀田昇吾、高木晴良
東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

P1-2 災害訓練におけるトリアージタグおよび災害カルテの記録状況と課題

○野田正美、中島楓愛
社会医療法人潤心会熊本セントラル病院 手術部

P1-3 救命救急病棟における災害訓練の効果と課題—災害時トリアージシートの導入・患者情報シートの改善—

○竹村昭一郎、清水将人、小黑捺海
聖隷浜松病院 救命救急病棟

P1-4 アクションカードを活用した地震時初動体制の取り組み

○東尾智子、大串鈴子
京都府山城総合医療センター

P1-5 避難シミュレーションが内視鏡センター看護師に及ぼす効果—災害時避難を円滑に行うために—

○黒澤由紀子、小林淳子、伊丹桃子
順天堂大学医学部附属浦安病院 看護部

一般演題（示説） 2-1

9月6日（土）13:20～14:20
ポスター会場（センター棟 1F 102）

「災害管理体制・備え①」

座長：野中千春（国立看護大学校）

P2-1 災害支援ナースの派遣における看護管理者の役割 —能登半島地震での派遣をとおして—

○日比野直子¹⁾、中村米利²⁾、中北裕子¹⁾、野呂千鶴子³⁾
三重県立看護大学¹⁾、三重県看護協会²⁾、国際医療福祉大学大学院³⁾

P2-2 A 病院師長会 BCP グループの活動報告—統括師長の災害時初動から事業継続へ—

○河野智子、木下まゆみ、茶谷園子
京都第一赤十字病院 消化器センター

P2-3 夜間・休日管理看護師長の務め

○久下みどり、天野久美子
東京都立広尾病院

P2-4 院内 BCP マニュアル改定に伴う看護部災害対応マニュアルの改訂—看護部災害対応マニュアルに記載すべき項目の検討—

○花房 亮
国立病院機構災害医療センター

「災害時要援護者（要配慮者）」

座長：渡邊 美保（第一薬科大学）

P3-1 災害時に避難所外避難を行ったオストメイトの生活上の困難と対処

○高取志歩¹⁾、佐藤奈保²⁾、飯野理恵³⁾千葉県若葉保健福祉センター健康課¹⁾、千葉大学大学院看護学研究院 先端実践看護学部門 高度実践看護学講座²⁾、千葉大学大学院看護学研究院 文化創成看護学部門看護政策・管理学講座³⁾

P3-2 「歩ける医療的ケア児」と家族の防災対策

○坂口由紀子¹⁾、久保恭子²⁾、穴戸路佳²⁾大東文化大学 スポーツ・健康科学部 看護学科¹⁾、東京医療保健大学²⁾

P3-3 在宅療養する重症心身障害児とその家族の被災体験と備え

○高橋優佳¹⁾、佐藤奈保²⁾、飯野理恵²⁾千葉大学大学院看護学研究科¹⁾、千葉大学大学院看護学研究院²⁾

P3-4 要配慮者の孤立・孤独予防と居場所づくりの検討—2 地区の事例調査より—

○網木政江¹⁾、牛尾裕子²⁾山口大学大学院創成科学研究科¹⁾、山口大学大学院医学系研究科²⁾

一般演題（示説）4-1

9月6日（土）14:30～15:30
ポスター会場（センター棟 1F 101）

「災害看護教育①」

座長：田中 加苗（聖路加国際大学）

P4-1 被災地メンタルヘルス支援をテーマとした国際看護交流の報告

○山田典子、藤澤希美、田辺有理子
横浜市立大学 医学部 看護学科

P4-2 研修は“平等”でいいのか？ JNA ラダーに基づいた災害教育の再設計

○佐野由加里

パナソニック健康保険組合 松下記念病院 BCP 推進室

P4-3 令和6年能登半島地震における看護大学生ボランティア活動の実践報告

○東尾公子¹⁾、國松秀美²⁾、臼井千津³⁾、前中夕紀¹⁾宝塚大学 看護学部 看護学科¹⁾、前宝塚大学²⁾、前名古屋学芸大学大学院看護学研究科³⁾

P4-4 日本災害看護学会学生会 (SAN) の活動と今後の展望

○齊藤 亮¹⁾、伊藤みの李²⁾、藤木くるみ³⁾、牧 花乃⁴⁾、中村ちひろ⁴⁾、岩淵 唯⁴⁾、
山本怜奈⁴⁾、鈴木 滯⁵⁾、杉江秋音⁶⁾、庄村萌々⁷⁾、黒田えいみ⁸⁾、内田彩香⁹⁾、
宮前 繁¹⁰⁾東京医科大学 医学部 看護学科¹⁾、福井大学 医学部 看護学科²⁾、金沢大学 医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻³⁾、東京医科大学 医学部 看護学科⁴⁾、
亀田医療技術専門学校 看護学科⁵⁾、愛知県立大学 看護学部 看護学科⁶⁾、長野県看護大学 看護学部 看護学科⁷⁾、東京医科大学 医学部 医学科⁸⁾、LIM⁹⁾、東京科学大学病院¹⁰⁾

P4-5 住民の共助意識の醸成を目指した準備教育プログラムの試行と評価 —避難所運営ゲーム<HUG>を用いた体験型学習の実践から—

○簗河原靖子、安藤敬子、佐藤祐貴子、脇 幸子、原田千鶴
大分大学 医学部 看護学科基盤看護学講座

P4-6 院内災害看護ラダーの導入

○明野仁郎、久下みどり、内田奈津子、天野久美子
東京都立広尾病院

「支援活動報告」

座長：江津 繁（国立病院機構埼玉病院）

P5-1 令和6年能登半島地震におけるDMATロジスティックチーム活動報告

○山本宏一

国立病院機構災害医療センター 診療看護支援教育室

P5-2 令和6年能登半島地震亜急性期における災害支援活動からの一考察

○高橋 勝

国立病院機構神奈川病院 看護部

P5-3 令和6年能登半島地震における日本DMAT第5次隊の活動報告 ―福祉施設支援・搬送調整・連携の実際―

○大泉昌也¹⁾、蓑輪ハンナ²⁾

独立行政法人国立病院機構相模原病院 看護部¹⁾、独立行政法人国立病院機構東京医療センター²⁾

P5-4 災害後地域の接点が学生にもたらす変容―能登町での経験記述の分析から―

○木村典子

愛知学泉短期大学 生活デザイン総合学科

P5-5 令和6年能登半島地震における国立病院機構医療班活動報告

○下河辺政子

独立行政法人国立病院機構災害医療センター

一般演題（示説）2-2

「災害管理体制・備え②」

座長：明野 仁郎（東京都立広尾病院）

P2-5 医療系大学に勤務する教員の大規模災害に対する防災意識と備えの実態

○多田美由貴、上白川沙織、松下恭子、岡久玲子

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 地域看護学分野

P2-6 災害時のトイレ問題と備えに関する感染対策の実態調査 ―静岡県西部病院環境管理懇話会によるアンケート結果から―

○眞壁利枝

聖隷浜松病院

P2-7 A 病院の看護師を対象とした病棟における災害時のトイレ対策の実践報告

○朝田和枝

福井赤十字病院 集中治療室（救急外来）

P2-8 血液透析患者の災害時における備えに関する文献レビュー

○櫻井敬子、泥谷朋子

東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科

「災害看護教育②」

座長：岡崎 敦子（国立病院機構東京医療センター）

P4-7 小学生の防災意識に対する VR 教育の即時効果と持続性の検討

○清水誉子¹⁾、佐々木麻未²⁾、増田和哲³⁾、竹村百瀬⁴⁾、野原正美⁵⁾、酒井彰久¹⁾、
佐藤大介¹⁾福井大学 医学部看護学科 成人・老年看護学／災害看護学¹⁾、石巻赤十字病院²⁾、
福井大学医学部附属病院³⁾、公立丹南病院⁴⁾、東北福祉大学⁵⁾

P4-8 A 病院における院内防災に対する意識調査結果の特徴

○河原千都¹⁾、山崎加代子²⁾杉田玄白記念公立小浜病院 看護部¹⁾、市立敦賀看護大学²⁾

P4-9 福島県南相馬地区の被災看護師が災害看護の体験を語る意味

○穴戸路佳、久保恭子

東京医療保健大学 立川看護学部

P4-10 「信州まちの減災ナースの会」設立の意義と活動ステップ ―地域社会における減災活動の
取り組み―

○小原真理子

学校法人 京都育英館 京都看護大学大学院

P4-11 日本語版災害リテラシー尺度の開発と信頼性・妥当性の検討

○早瀬麻子¹⁾、土屋さやか²⁾、伊藤里佳³⁾、江藤宏美³⁾佛教大学 保健医療技術学部 看護学科¹⁾、宮崎大学²⁾、長崎大学³⁾P4-12 「まちの減災ナース指導者」による家庭防災への取り組み ―中学生を対象とした口腔ケア
演習から―○河村 諒¹⁾、増本英子²⁾、鈴木里江³⁾、杉山清美⁴⁾、山田 剛⁵⁾、松田優子¹⁾名古屋葵大学 健康科学部看護学科 成人看護学¹⁾、スギ訪問看護ステーション野立
橋²⁾、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター³⁾、大野医院⁴⁾、NPO 法人 ICDS
名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校キャリアナビゲーター⁵⁾

「災害訓練②」

座長：酒井 彰久（福井大学）

P1-6 人間陶冶を企図した災害支援学生ボランティアの育成（1）ボランティアリーダー育成プロ
グラムの考案○尾立篤子、臼井雅美、日高紀久江、島村敦子、瀧口千枝、蜂ヶ崎令子、宮崎裕子、
原田慶子、笠間秀一、菅谷綾子、林 京子

東邦大学 健康科学部

P1-7 人間陶冶を企図した災害支援学生ボランティアの育成（2）チームビルディングを意識した
ボランティアの組織的強化への取り組み

○小山田吏緒、前田夏那、中村美羽、村山幸翼、蓮尾紗耶、石毛日南乃、山崎花音

東邦大学健康科学部 看護学科

P1-8 人間陶冶を企図した災害支援学生ボランティアの育成（3）災害時の健康生活支援を目指し
た学生ボランティアの活動報告

○前田夏那、小山田吏緒、中村美羽、村山幸翼、蓮尾紗耶、石毛日南乃、山崎花音

東邦大学健康科学部 看護学科

- P1-9 人間陶冶を企図した災害支援学生ボランティアの育成（４）教材考案「刃物を使わない安全な段ボールトイレの作成方法」
○宮崎裕子、蜂ヶ崎令子
東邦大学健康科学部 看護学科
- P1-10 人間陶冶を企図した災害支援学生ボランティアの育成（５）災害時の健康維持から検討したフェーズフリーな健康体操の実装可能性
○瀧口千枝、島村敦子、日高紀久江、蓮尾紗耶、中村美羽、村山幸翼、前田夏那、小山田吏緒、石毛日南乃、山崎花音、臼井雅美、蜂ヶ崎令子、宮崎裕子、原田慶子、笠間秀一、菅谷綾子、林 京子、尾立篤子
東邦大学健康科学部 看護学科